

行事など



入学式



学部集会 (小学部)



避難訓練



校外学習 (中学部)



交流学习 (小学部)



学習発表会 (高等部)



宿泊学習 (中学部)



修学旅行 (高等部)

児童生徒作品



スクールバス

学校までは、4コースのスクールバスや保護者による送迎などで通学しています。



亀山コース (白バス)



鈴鹿東コース (青バス)



鈴鹿中央コース (緑バス)



鈴鹿西コース (赤バス)

アクセス



JR 関西本線「加佐登駅」より徒歩 10 分
鈴鹿市西部地域コミュニティバス「加佐登神社」より徒歩 5 分



すぎのこホームページ
すぎのこホームページ

学校案内



三重県立杉の子特別支援学校【本校】

〒513-0004 三重県鈴鹿市加佐登三丁目2番2号

電話 059-379-1611 (事務室)

059-379-1831 (小学部知的障がい部門職員室)

059-379-1652 (小中学部肢体不自由部門職員室)

059-379-1650 (高等部肢体不自由部門職員室)

FAX 059-379-1632

学校教育目標

一人ひとりの可能性を引き出し、
生きる力を育成する

目指す学校像

◇一人ひとりの可能性を伸ばし、
生きる力を育む学校をめざす

- ・一人ひとりの教育的ニーズや障がい特性に応じ、その可能性を伸ばす教育活動の充実
- ・一人ひとりの自立や社会参加をめざした一貫性のある教育の構築
- ・教職員間の対話・会話を大切にしたい組織力の向上
- ・共生・共学の推進
- ・防災対策・防災教育の推進
- ・人権感覚あふれる学校づくりの推進

学校概要

杉の子特別支援学校[本校]は、鈴鹿市・亀山市に居住している知的障がいのある児童（小学部）、肢体不自由のある児童生徒（小学部・中学部・高等部）また、隣接する独立行政法人鈴鹿病院に入院している児童生徒を対象とした学校です。令和5年度より学校体制が変わり、中学部知的障がい部門が、石薬師分校に移転。通学区域も変更され、本校に、鈴鹿市亀山市の肢体不自由部門が設置されました。

マスコットキャラクター



「すぎちゃん のこちゃん」
地域と学校、児童生徒、保護者など、杉の子を見守っていただいている多くの方々と寄り添いながら、杉の子の子どもたちを育んでいきたいという思いがこめられています。

時間割

*各学部の時間割の一例です。詳しくは、学校までお問い合わせください。

<小学部>

B 課程：知的障がい教育

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導（着替え・朝の会・かけあしなど）				
2	体育・遊びの指導			自立活動	生活
3	国語・算数・自立活動				生活
4	日常生活の指導（食事）				
5	図工	自立活動	日常生活の指導	音楽	生活
6	日常生活の指導			日常生活の指導	

★学年により授業時数・時間割が異なります。上記は4～6年生の時間割

C 課程：肢体・知的重複障がい教育（自立活動中心）

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	自立活動				
3	生活単元	音楽	遊びの指導	みるきく	さわるかんじる
4	自立活動（食事・課題）				
5					
6	自立活動	特別活動		自立活動	

★学年により授業時数・時間割が異なります。上記は4～6年生の時間割

★C 課程は、上記のほかに知的代替の時間割もあります。

* A 課程は、小学校に準じた教科学習を行う肢体不自由教育です。

D 課程は、鈴鹿病院内や家庭での訪問教育です。

学習の様子



体育（小 B 課程）



朝の会（小 C 課程）



国語・算数・自立活動



プール学習（小 B 課程）

<中学部>

C 課程：肢体・知的重複障がい教育（自立活動中心）

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	自立活動				
3	自立活動	音楽	保健体育	生活単元	美術
4	自立活動（食事・課題）				
5					
6	美術	特別活動	音楽	保健体育	自立活動
7	日常生活の指導				

★C 課程は、上記のほかに知的代替の時間割もあります。

* A 課程は、中学校に準じた教科学習を行う肢体不自由教育です。

D 課程は、鈴鹿病院内や家庭での訪問教育です。

<高等部>

C 課程：肢体・知的重複障がい教育

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	国語	数学	生活単元	総合的な探求の時間	美術
3	自立活動				
4	自立活動（食事・選択）				
5					
6	体育	音楽	体育	特別活動	音楽
7	日常生活の指導				

★C 課程は、上記のほかに自立活動中心の時間割もあります。

* A 課程は、高等学校に準じた教科学習を行う肢体不自由教育です。

D 課程は、鈴鹿病院内や家庭での訪問教育です。

学習の様子



訪問教育（D 課程）



生活単元（中学部）



音楽（高等部）



プール学習（C 課程）